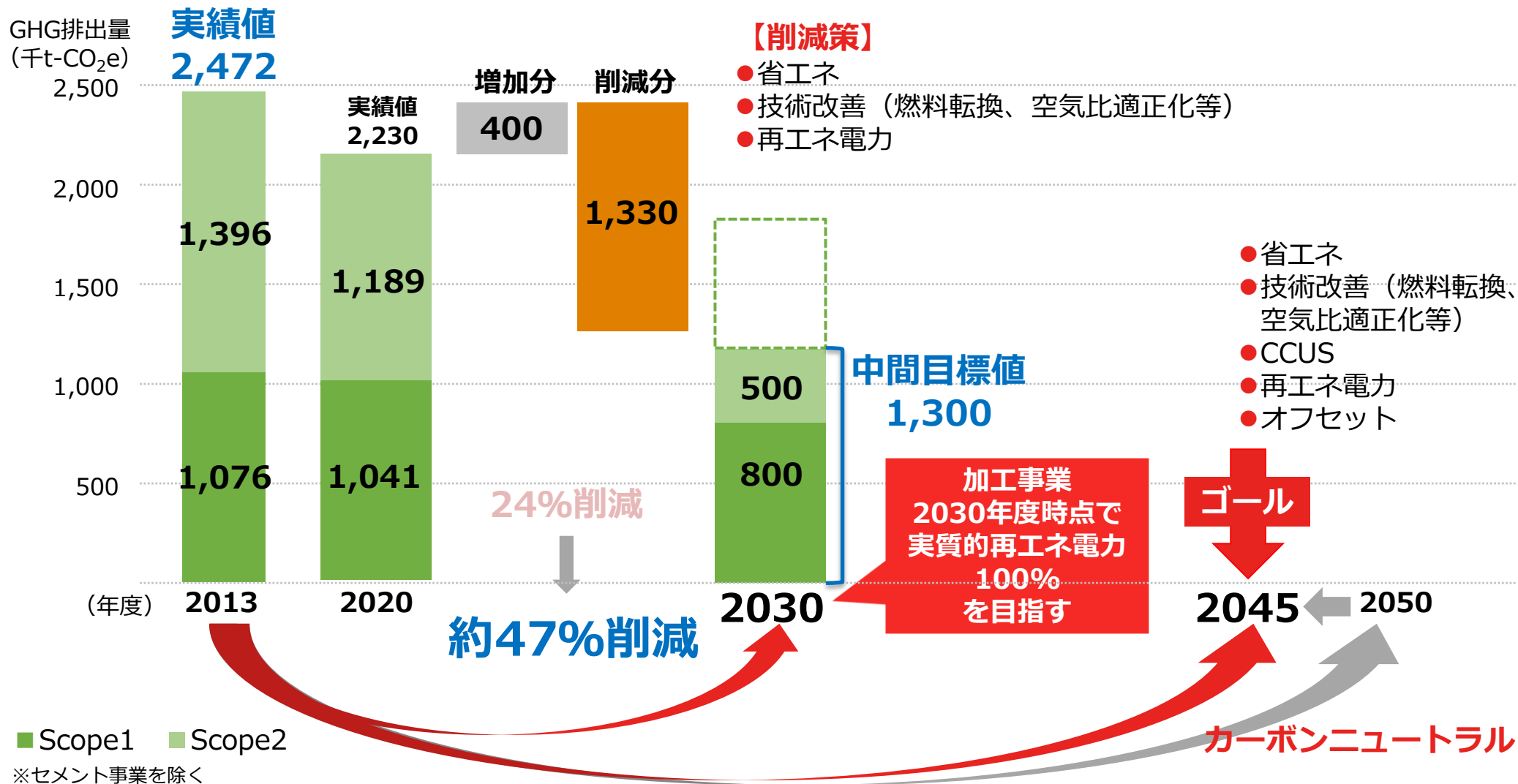


新たな温室効果ガス削減目標および 取り組みについて

新たな温室効果ガス削減目標



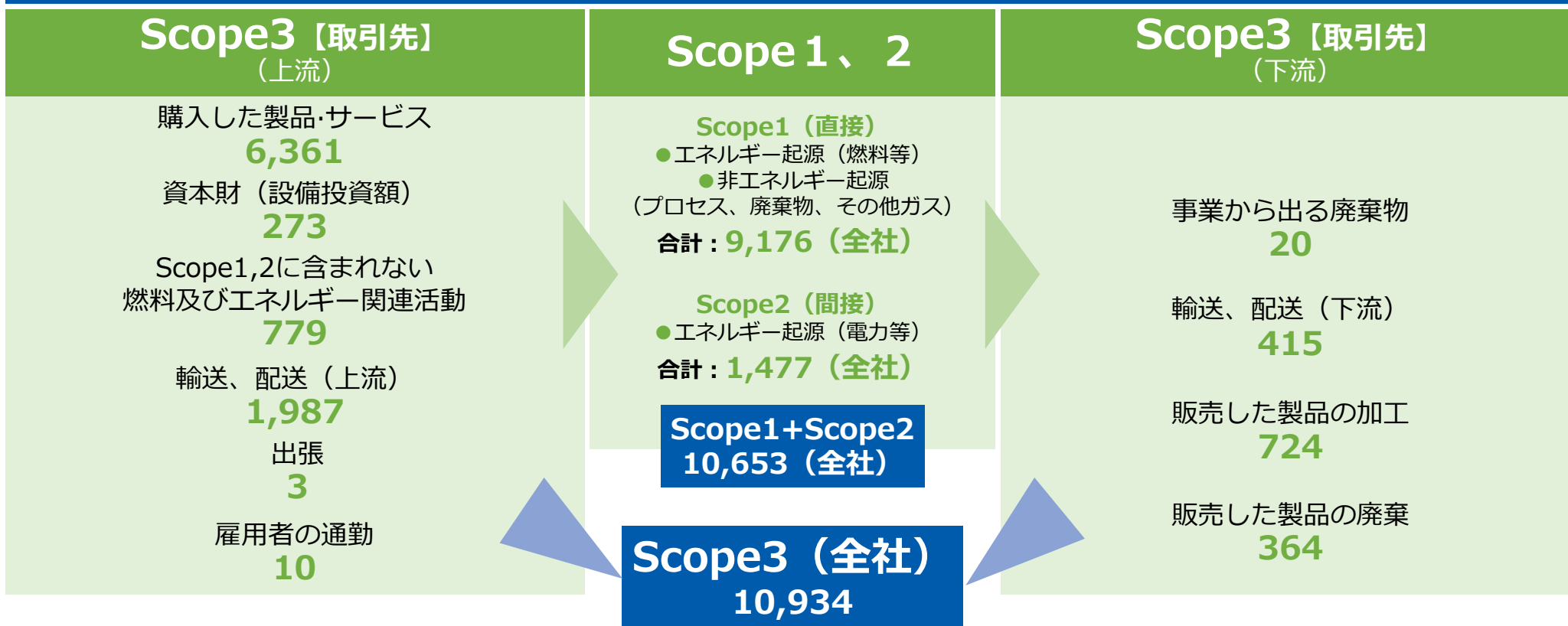
Scope3の実績把握

- 取引先との情報共有による個別の原単位データ等の収集から算定精度を向上
- バリューチェーンでの連携を進め、取引先のGHG削減計画等を踏まえた長期的な削減見込みを把握

2020年度温室効果ガス総排出量内訳

(千t-CO₂e)

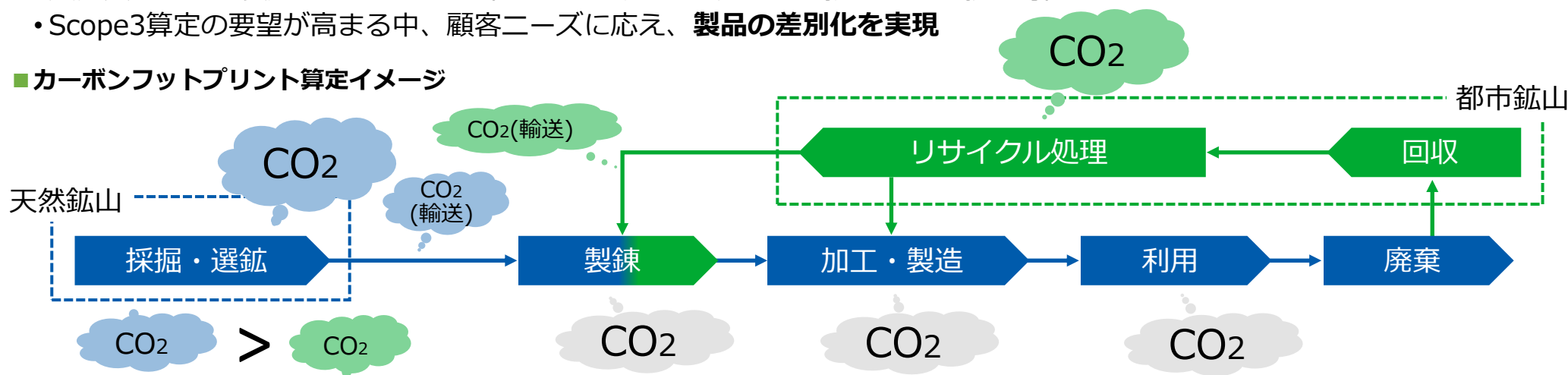
GHG総排出量（全社） 21,587



カーボンフットプリント (CFP) の評価と活用

- CO₂排出量の少ないリサイクル由来の原料を利用したサーキュラーエコノミーに注力
- 将来的にはデジタル技術を活用し透明性を確保することを視野にCFPの試験的評価を開始
 - ・製品のライフサイクルや製造工程におけるGHG排出量の把握が可能
 - ・天然資源からの製造とリサイクル原料からの製造におけるGHG排出量の比較も可能
 - ・Scope3算定の要望が高まる中、顧客ニーズに応え、製品の差別化を実現

カーボンフットプリント算定イメージ



取り組み事例:若松製作所における伸銅製品加工工程見直しによるGHG排出削減効果の評価

車載用小型端子向け銅合金「MSP1」の製造工程におけるGHG排出量について、長時間での高温熱処理が必須となる従来の析出型工程との比較評価を試験的に算定

今後の予定

- ・タングステンのリサイクルを考慮した場合のCFP
- ・銅スクラップ原料を考慮した場合のCFP

カーボンフットプリントとは、LCA*のうち、GHG排出に関わる項目評価の部分抜き出したもの

*LCA(Life Cycle Assessment) : 製品のライフサイクルにおける投入資源、環境負荷、及びそれらによる環境影響を定量的に評価する手法